

# 「広島神楽」定期公演へようこそ！

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただけたため、下記のルールを設けています。

ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(1) 座席での飲食は出来ません。ロビーをご利用下さい。

(2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など他のお客様のご迷惑になる行為はご遠慮下さい。

(3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。着席での鑑賞をお願いします。

(4)撮影について

→写真撮影は右図の撮影エリアで行って下さい。

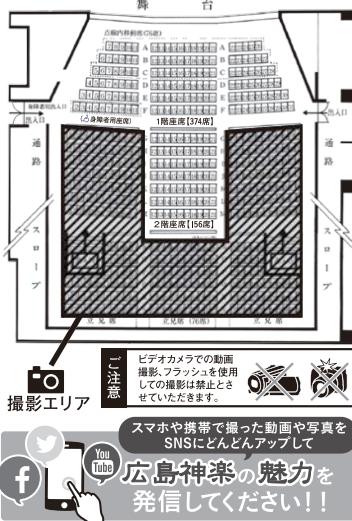
※ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止します。

(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

## 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



## 8月23日のタイムスケジュール

出演：溝口神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『戻り橋』

(およそ40分)

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『滝夜叉姫』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。（舞台へは靴を脱いでお上がりください。）

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

みぞぐちかぐらだん

## 溝口神楽団プロフィール～山県郡北広島町～

溝口神楽団の歴史を紐解くと、明治中期に矢上系の舞いを伝授されたのが始めとされています。

昭和40年代には北広島町の千代田地域の春木神楽団より新舞を習得し、現在では、新舞旧舞ともに継承しています。近年では久しく上演されなくなったような古い演目の掘り起こしも積極的に行い、およそ50年ぶりに復活しました「折敷舞(おしきまい)」という両手にお盆を乗せて舞う演目は当地域では大変珍しい曲芸的な演目として各所で上演の機会をいただいているところです。

## 第一幕『戻り橋』(もどりばし)

平安の世、大江山に棲む酒呑童子の手下、茨木童子は毎夜美しき姫や老婆へと身を変え、都に出ては都人に災いをかけていました。都の守、源頼光は四天王の筆頭 渡辺綱に怪物退治を命じます。渡辺綱は伝家の宝刀「髭切」を携え一条戻り橋へとむかいます。

茨木童子は姫へと身を変え、都の傘売りである善兵衛に雨に濡れてしまったから、雨を拭き取るあいだ傘を貸して欲しいと言寄り、善兵衛は雨を凌げる場所へと案内している途中、姫は茨木童子へと変化しその正体をあらわします。

渡辺綱が通りかかると、茨木童子へと化し酒呑童子を呼び寄せて妖術によって渡辺綱を倒します。

そこに岩清水八幡の立幣をもって坂田金時が加勢し、茨木童子の左の腕を切り落としますが鬼は虚空飛天の妖術によって大江山へと逃げ帰っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 下杉 昌樹	渡辺綱 … 滝口 裕訓	茨木童子の化身 … 吉田 裕大
	小太鼓 … 堀田 隼人	坂田金時 … 横畠 浩司	酒呑童子 … 宮本 繁樹
	手打鉦 … 宮本 幸範	傘売り善兵衛 … 下杉 陽介	茨木童子 … 櫻井 辰彦
	笛 … 横畠 あゆな		

## 第二幕『滝夜叉姫』(たきやしゃひめ)

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・相馬(そうま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光闇(おおやのちゅうじょうみづくに)らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 下杉 昌樹	大宅中将光闇 … 滝口 裕訓	滝夜叉姫 … 吉田 裕大
	小太鼓 … 宮本 繁樹	山城光成 … 堀田 隼人	夜叉丸 … 横畠 浩司
	手打鉦 … 櫻井 辰彦		蜘蛛丸 … 宮本 幸範
	笛 … 下杉 陽介		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。